

Riyo Uemura

植村理葉 ヴァイオリンリサイタル 2025

「ロマンス」モーツァルトと
東欧の音楽を求めて
“Romance”

2025年 **5 | 15** 日

19:00開演 / 18:30開場

東京文化会館
小ホール

[台東区上野公園5-45 JR、地下鉄「上野」下車]

Thursday, 15th May, 2025
at Tokyo Bunka Kaikan, Recital Hall
Performance start at 19:00

●全自由席 (税込):

一般 5,000円

学生 3,500円

W. A. モーツァルト:

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ
ト長調 KV 301

Wolfgang Amadeus Mozart:
Sonata for Piano and Violin G major KV 301

B. マルティヌー:

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ
ハ長調 H. 120

Bohuslav Martinů:
Sonata for Violin and Piano C major H. 120

G. クルターグ:

ヴァイオリンのためのサイン、
ゲームとメッセージ

György Kurtág:
Signs, Games and Messages for Violin

A. ドヴォルザーク:

ヴァイオリンとピアノのためのロマンス
ヘ短調 Op.11

Antonín Dvořák:
Romance in F minor Op.11 for Violin and Piano

B. バルトーク:

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ
ホ短調 BB 28

Béla Bartók:
Sonata for Violin and Piano E minor BB 28

©Akira Muto

2025年
1/5日
チケット
発売

●マネジメント・お問合せ:

(株)カメラータ・トウキョウ
03-5790-5560

●チケット取り扱い:

カメラータ・トウキョウ
03-5790-5560
www.camerata.co.jp

[電話での受付は平日10:00~18:00まで]

東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650
www.t-bunka.jp/tickets

[窓口は19:00まで / 10:00~18:00 休館日除く]

イープラス

[WEB / アプリ / Famiポート]
eplus.jp

●やむを得ない事情で曲目等が変更になる場合がありますので
あらかじめご承知おき下さい。●未就学児の入場はご遠慮下さい。



岡田博美 | ピアノ
Hiromi Okada, piano

Violin Recital 2025

リサイタルに寄せて



東京文化会館でのリサイタルでは、前回に続きこれまでもCDやリサイタルで度々共演している岡田博美氏をお迎えして演奏します。プログラムは、モーツァルトと東欧の作曲家の作品で構成されています。

誘うように始まるモーツァルトのピアノとヴァイオリンのためのソナタKV 301。マルティヌーのヴァイオリンソナタのC-Durの華やかな第1楽章はチェコの人形劇を彷彿とさせます。ドヴォルザークのロマンスは管弦楽伴奏でも演奏される名曲。ドヴォルザークの暖かく美しい旋律は哀愁やドラマを纏っています。クルターグはやはり東欧の作曲家で、2025年2月に99歳になります。短い小品から成る無伴奏の作品。その中で、クルターグからのメッセージを表現したいと思います。バルトークのソナタは若い頃の作品を選びました。時代の移り変わりの中、後の自らの様式を確立する前のピュアなバルトークが新鮮です。

当日みなさまにお聴きいただけますことを励みに、その日の過ごし方や音楽、生き方、人とのありかたを大切に探し求めて行きたいと思っております。

どうぞお誘いあわせの上ご来場いただき、心ゆくまでモーツァルトと東欧の響きをお楽しみください。……………**植村理葉**

植村理葉 | ヴァイオリン…………… Riyo Uemura, violin

その優れた音楽性と卓越した技術で、国内外で高い評価を受け続けているヴァイオリニスト、植村理葉。桐朋学園女子高等学校音楽科を卒業後、文化庁芸術家在外研修員としてケルン音楽大学にてイゴール・オジム氏に師事。その後、ローザンヌ音楽院でピエール・アモイヤル氏、ドレスデン音楽大学でマンフレッド・シュルツァー氏に師事し、いずれも最優秀の成績で卒業。国内では小林健次、和波孝禧、鈴木共子、千本芳恵の各氏に師事。

数々のコンクールで優秀な成績を収め、全日本学生音楽コンクール小学生の部全国第1位、日本音楽コンクール第2位およびナカミチ賞受賞、ミケランジェロ・アバド国際ヴァイオリンコンクール第1位をはじめ、L.モーツァルト国際ヴァイオリンコンクールで最高位およびモーツァルト特別賞、新日録音楽賞フレッシュ・アーティスト賞など多数受賞している。

「音が美しく、表現が豊かで、清潔な音楽を作り出すヴァイオリニスト」と称賛される。

ソリストとしてこれまでにハレ・フィルハーモニー管弦楽団やサンクトペテルブルク・カメラータなどと90回以上共演し、国際舞台での輝かしい実績を誇る。

東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団など、国内のトップオーケストラとも共演している。

またリサイタルでは、バッハ、ベートーヴェン、モーツァルトなどの名曲を全曲演奏するなど、常に新しい音楽の挑戦を続けている。

マスタークラスや夏期講習を通じて後進の育成にも力を注いでいる。さらに、シューマンのヴァイオリン協奏曲やラヴェル、フォーレの作品集などを収録したCDが高い評価を受け、音楽界における存在感を確立している。

現在、ベルリンと東京を拠点に、ソリスト、室内楽奏者として活動しており、2020年には「ピュシス弦楽四重奏団」を結成。ベートーヴェンの弦楽四重奏全曲演奏会を開催するなど、常に新たな音楽の創造に挑んでいる。

その情熱と音楽に対する真摯な姿勢は聴衆を魅了し、その美しい音は心に深く残る。

●ホームページ：www.riyo-uemura.com

岡田博美 | ピアノ…………… Hiromi Okada, piano

富山県出身。安藤仁一郎、森安芳樹、マリア・クルチオ各氏に師事。桐朋学園大学在学中、第48回日本音楽コンクール優勝。桐朋学園大学を首席で卒業後、1982年第28回マリア・カナルス国際コンクール第1位。1983年第2回日本国際音楽コンクールピアノ部門第1位。1984年第2回プレトリア国際コンクール第1位。1984年から2022年までロンドン在住。1985年ロンドンでデビューリサイタルを開催し絶賛される。以降ヨーロッパ各地で活動を続け、日本でも毎年意欲的なプログラムでリサイタルを開催、好評を博す。1993年のショパン・エチュード全曲演奏に対し、第20回日本ショパン協会賞を受賞。幅広いレパートリーを生かして国内外の数多くのオーケストラと協演。室内楽でもウィーン・フィル・メンバーや天満敦子、川島成道らと共演。草津夏期国際アカデミー&フェスティヴァルや海外の音楽祭にも数多く出演。2015年より桐朋学園大学院大学教授を務め、後進の指導にも意欲的に取り組んでいる。カメラータ・トウキョウに、継続的にソロや室内楽の録音を多数おこなっており、どのディスクも高い評価を得ている。

●ホームページ：www.hiromi-okada.org



フォーレ:ヴァイオリンとピアノのための作品集 植村理葉 & 岡田博美

- フォーレ:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ長調 作品13/ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ホ短調 作品108
子守歌~ヴァイオリンとピアノのための 作品16/ロマンス~ヴァイオリンとピアノのための 変ロ長調 作品28
月の光 作品46-2(トランスクリプション:A.ペリルー)/アンダンテ~ヴァイオリンとピアノのための 変ロ長調 作品75
無言歌 作品17-3(編曲:P.グアン)/子守歌~「ドリー」より 作品56-1(トランスクリプション:E.アメル)/シシリエンヌ 作品78
- ラヴェル:フォーレの名による子守歌

植村理葉(ヴァイオリン)/岡田博美(ピアノ) 録音:2016年4月/東京

[CD]CMCD-28331 ¥3,080(税抜価格:¥2,800) ★「レコード芸術」2017年3月号[特選]

ラヴェル:ヴァイオリン・ソナターフランス・ヴァイオリン作品集 植村理葉 & 岡田博美

- ドビュッシー:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ(1916~17)
- ラヴェル:ヴァイオリン・ソナタ(1923~27)/ヴァイオリン・ソナタ「遺作」(1897)
- ミヨー:ヴァイオリン・ソナタ 第2番(1917) ●別宮貞雄:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第1番(1967)

植村理葉(ヴァイオリン)/岡田博美(ピアノ) 録音:2008年12月/ウィーン

[CD]CMCD-28183 ¥3,080(税抜価格:¥2,800)

[DVD-ROM]HQMP-10002 ¥4,950(税抜価格:¥4,500) ▶上記ドビュッシー、ラヴェル作品を、24bit/96kHz/ハイレゾWAVファイルで収録

